

図書館情報 2019-No1

◆◆◆教科参考図書・おすすめ本◆◆◆

としょかんりようあんない
図書館利用案内

開館時間 9:00~17:00 (月~金)

休館日 土曜日、日曜日、国民の休日、
年末年始（１２月２８日～１月３日）、
夏季一斉休業期間（８月１３日～１６日）
※臨時に休館する場合は、その都度、掲示等でお知らせします

貸出冊数 学生5冊以内 教職員15冊以内
※雑誌の最新刊とカウンター上の図書及び辞書類は貸出不可

貸出期間 学生2週間以内 教職員1ヶ月以内



◆入館

入り口でスリッパに履き替えて入館してください。脱いだ靴は靴棚に入れるか備え付けのビニール袋に入れて持って入ってください。

◆館内閲覧

全館開架式を採用しています。図書、雑誌等は自由に書架から取り出し閲覧できます。
利用後は必ず元の位置に戻してください。CD や DVD 等視聴覚資料の利用は、カウンターで申し込み、学生証を提示してヘッドホンを借りてください。

◆貸出

借りたい図書と学生証を受付カウンターで呈示してください。

◆返却

借りた図書をカウンターへ返却してください。(学生証等不要)

◆学生リクエスト

図書館に置いて欲しい図書がある場合は、備え付けの「購入希望図書申込書」に記入し、リクエスト箱に入れてください。

◆図書館相互利用サービス

埼玉県内の大学・短期大学図書館の利用が可能です。カウンターで申し込み、共通閲覧証を借りてください。ただし、館内閲覧・複写のみで貸出不可です（利用日は事前に希望する館へ確認します）。

◆コピー機

セルフサービスとなっています（1枚10円）。

【館内規律】 『学生便覧』(63ページ)掲載

利用者は、館内では次の各号を守らなければならない。

- (1) 本学の学生は学生証を、本学教職員及び他の利用者は利用証（または身分証明書）を携帯し、入館時等必要に応じて呈示すること
- (2) 閲覧は所定の閲覧場所で行い、閲覧を終えたときは、速やかに資料を元の位置に戻すこと
- (3) 所定の手続きを経ないで、図書を館外に持ち出さないこと
- (4) 備品・設備は大切に扱い、みだりにその位置を動かさないこと
- (5) 常に静粛にし、喫煙、飲食及び他の利用者の妨げとなる行為をしないこと
- (6) その他、館内の掲示及び館員の指示に従うこと

山村穂高先生の **オススメ本**

『100万回生きたねこ』

佐野 洋子／著 1977年10月刊 講談社 1,400円

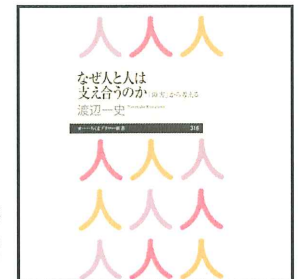


なぜ生きるのか？たれのために生きるのか？みなさんが一度は考える難問です。これは、自分のことが大好きで、100万回生き返ったネコのお話。時には王様のねこ、時には船乗りのねこ、時にはどろぼうのねこ、ねこはいつも飼い主が嫌いでした。自分のことが一番好きだったからです。でも、野良ねこになったある日、ねこはうつくしい白いねこに出会いました。初めて自分以外のねこを好きになって、ねこの生き方は変わります。そしてねこは、・・・生きるとは何か、死ぬとは何か、愛するとは何か、人生の意味を問いかけるハートウォーミングな物語です。

宇田川 和久 先生の **オススメ本**

『なぜ人と人は支え合うのか 「障害」から考える』

渡辺一史／著 2018年12月刊 ちくまプリマー 新書880円



『こんな夜更けにバナナかよ』から15年。著者渡辺一史氏の最新刊である。「障害者について考えることは、じつは健常者について考えることであり、同時に自分自身について考えることであります」という著者の思いがしっかり伝わってくる本

発端は、津久井やまゆり園事件である。著者も、日本人の多くは、この事件の本質を未だとらえてはいないと考えている。当時の被害者家族からは、「日本では全ての命はその存在だけで価値があるという考え方が当たり前ではなく優生思想が根強い」といった話が出た。また、精神科医の香山リカさんは、「経済至上主義や成果主義の中、稼げば勝ち、利益を上げない人は価値がないという考えが世界の一つの『原則』になっています。そうした中、自分と異なるものへの想像力がなくなり、異質なものは排除してもいい、自分の考えは世間の支持を得られるのではないかと考えたのではないのでしょうか」と容疑者の行為の背景について意見を述べていた。障害児教育（特別支援教育）に長年携わってきた者として、容疑者の『意思疎通の図れない障害者は安楽死をさせてやる』の言葉は忘れられない。この本の中で、脊髄性筋萎縮症Ⅱ型という難病の当事者である海老原宏美さんの次のような話が載っていた。

我々誰もが、「富士山は美しい」といい、「屋久島の縄文杉は素晴らしい」という。直接物言わぬ対象を「美しい」「素晴らしい」と大切なものとするのに、なぜ、障害者に対する偏見といったものはなくならないのか・・・

我々教育に携わる者の責任が大きいと感じた。障害者理解を進めるには、特別支援学校等における教育の充実も大切だが、特殊教育から特別支援教育への転換が図られ10年が経過した今、特別支援教育の理念を大切に、「分ける」という視点は完全に捨て、一人一人のニーズに応じ、その持てる可能性を最大限に発揮できる教育の充実を目指し、多様性に寛容になれる共に学び育ち合うことのできる教育環境づくりを進めるべきである。



2019年度 教科参考図書・視聴覚資料



教員	書籍名	著者名	出版社
相沢	あ・あ	三浦太郎	童人社
	しっぽがびん	おくはらゆめ	風濤社
	だっだー	ナムーラミチコ	主婦の友社
	かにこちゃん	岸田衿子・堀内誠一	くもん出版
	くらい くらい	長谷川摂子・柳生弦一郎	福音館書店
	あそび	ルソ・カセリ	文化出版局
	あっ！	中川ひろたか・柳原良平	金の星社
	とつとつ とつとつ	まついのりこ	童心社
	ふたごのしろくま ねえ、おんぶのまま	あべ弘士	講談社
	ぼんちんぱん	柿木原政広	福音館書店
	ぼんぼん ポコポコ	長谷川義史	金の星社
	まるてん いろてん	中辻悦子	福音館書店
今村	よくきたね	松野正子・鎌田暢子	福音館書店
	りんご	松野正子・鎌田暢子	童心社
	アタッチメント 生涯にわたる絆	数井みゆき・遠藤利彦	ミネルヴァ書房
宇田川	21世紀型保育のススメ たてわりではない異年齢児保育	藤森平司	世界文化社
	TEACCHプログラムに基づく自閉症児・者のための自立課題アイデア集 身近な材料を活かす95例	林大輔／著 諏訪利明／監修 null	中央法規出版
	イラストでわかる特別支援教育サポート事典 「子どもの困った」に対応する99の実例	笹森洋樹／編著	合同出版
福泉	特別支援教育の基礎	半澤嘉博 [ほか] 著	大学図書出版
	音楽表現 〈新版〉実践 保育内容シリーズ 5	三森桂子, 小島エマ編著	一藝社
	生後すぐからできる赤ちゃんのリズム体操	川島智世著	学研教育出版
	ダルクローズ・システムによるリトミック指導 1	全日本リトミック音楽教育研究会 編	全音楽譜出版社
	ダルクローズ・システムによるリトミック指導 2 4才児用	全日本リトミック音楽教育研究会 編	全音楽譜出版社
	ダルクローズ・システムによるリトミック指導 3 5才児用	全日本リトミック音楽教育研究会 編	全音楽譜出版社
	2018年問題とこれからの音楽教育 激動の転換期をどう乗り越えるか？	久保田慶一	ヤマハミュージックメディア

